

京都の土地改良



「厳寒の水清く」第15回水・土・里ふるさと写真コンクール 佳作作品（撮影者 広瀬 誠）

年頭あいさつ

京都府土地改良事業団体連合会会長	藤 原 秀 夫	2
京都府知事	西 脇 隆 俊	3
全国土地改良事業団体連合会会長	二 階 俊 博	4
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進 藤 金 日 子	5
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮 崎 雅 夫	6

主な活動報告

令和元年度理事会並びに監事会を開催	7
第42回全国土地改良大会 岐阜大会の開催	8
農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動	10
農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動について	11
叙勲受章者の紹介（山本雅晃様）	12

農政情報

令和2年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要	13
---------------------------------	----

事業紹介・研修等

水土里相談推進事業について	14
土地改良法改正に関する取り組み	15
業務課の取り組みについて	16
総務支援課取り組み	17
令和元年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会を開催	19
全国水土里ネット女性の会設立総会及び研修会	19

土地改良区等紹介コーナー

相楽支部 木津土地改良区	20
--------------------	----

その他の活動

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取り組み	21
水土里フェスタ2019 / 京都府農林水産フェスティバル2019	22
令和元年度京都府農林水産業功労者表彰	22

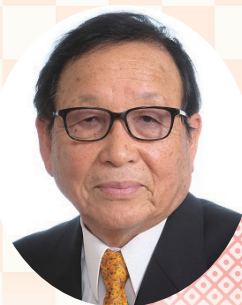
事務局だより

写真コンクール展示	23
資格試験合格者について	23
福島県内の災害復旧に係る技術職員の応援派遣について	23

年頭のご挨拶

京都府土地改良事業団体連合会
(水土里ネット京都) 会長

藤原 秀夫



新年あけましておめでとうございます。

令和2年の年頭に当たり、京都府土地改良事業団体連合会の会員をはじめ、関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様方には日頃から、本連合会の運営並びに諸事業の推進につきまして、多大のご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年も台風15号や19号など大変多くの自然災害が発生しました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。新しい令和の時代が平和で穏やかであるよう願うものであります。

多発する大規模な災害に備えて、国では昨年度から防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策が進められております。農業農村関係では、特に農業用ため池の防災・減災対策に重点を置いて取組まれており、昨年には新たに「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が制定されました。所有者による農業用ため池の届け出やため池の適正な管理に務めること、市町村が特定農業用ため池の災害時の避難経路などの周知に努めることなどが定められました。連合会といたしましては、一斉点検のため池データの活用、ハザードマップ策定などの業務実績の蓄積を活かし、新しい法律の要請に応えていきたいと考えております。

さて、京都府では昨年10月に策定された新たな「京都府総合計画」に続いて、12月には「京都府農林水産ビジョン」が策定されました。京都ならではの農林水産業や農山漁村を次の時代に確実に引き渡すことを使命とし、農林水産業の夢と未来を創る戦略として、スマート技術による生産現場の強化や、農林水産業を支える強い基盤づくりなどが施策方向のひとつに掲げられています。我々水土里ネットをはじめ土地改良事業団体は、農業農村の基盤である農地と水利施設をはじめとする土地改良施設を整備し、保全管理してきたところであり、今後も農地の整備を通じた担い手への集積、土地改良施設の更新・維持管理、更にはスマート技術導入のための基盤整備など、農業農村整備事業を着実に推進し、ビジョンの実現に繋げていくことが重要であります。

こうした農業農村整備事業予算につきましては、昨年末に令和2年度当初予算として4,433億円、臨時・特別の措置と令和元年度補正予算を合わせますと6,515億円が閣議決定されました。これは、前年同期を64億円上回る額となっています。我々土地改良関係者が、地域の声を国政の場に届けるとともに、皆様のご支援により進藤参議院議員に続いて、宮崎参議院議員を誕生させることができた結果であります。引き続き両議員の活動としっかり連携しながら、事業の推進に当たって参りたいと存じます。

本年は改正土地改良法が施行されて2年目を迎えます。会員土地改良区におかれては、新たな役員の選出や貸借対照表の作成、資産評価など、具体的に進んで参るものと存じます。人口減少社会を迎え、担い手の減少が進む厳しい環境ではありますが、多面的機能支払の活動組織との連携など新たな形を含め、土地改良区の体制強化が円滑に進むよう、京都府御当局をはじめ関係機関と十分な連携を図りながら、引き続き取り組んで参る所存であります。

新しい年を迎え、農業農村を支える土地改良事業が効果的、効率的に推進できますよう、連合会の事業や活動の充実を図り、会員の皆様様の様々な要請に応えるとともに、会員の皆様と一体となって、農業農村整備事業の推進に取り組んで参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご家族共々のご多幸とご清祥をお祈り申し上げまして、私の新年のごあいさつといたします。

夢や希望を実現できる年に

京都府知事 西 脇 隆 俊



新年あけましておめでとうございます。

府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って

昨年は新天皇が即位され、平成から令和へ、新しい時代が幕を開けました。令和という元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という願いが込められております。日本文化の中心である京都府として、府内の多様な地域文化を世界へ発信していく務めを改めて自覚する契機ともなりました。

振り返りますと、6月のG20大阪サミット、9月のICOM（国際博物館会議）京都大会、そして先のラグビーワールドカップ2019日本大会と、折々に多くの観光客の皆さまにお越しいただき、世界中から日本が、そして京都が注目される一年でありました。

さらに、京都大学ご出身の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、2年連続で京都ゆかりの方が栄誉に輝くという大変うれしい出来事もございました。

一方、京都アニメーション第1スタジオの放火によって多くの方々が亡くなるという大変痛ましい事件も起こりました。衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、今なお治療を続けておられる方々の一日も早いご回復を祈念申し上げます。京都府といたしましても、引き続き、被害者やご家族の皆さまに寄り添った支援をしてまいります。

「京都夢実現プラン」始動

われわれが置かれている社会情勢を見渡すと、少子・高齢化と人口減少の本格化に加え、グローバル化の進展によって国際情勢の変化がわれわれの生活にも直接影響を及ぼす状況にあります。また、頻発する自然災害など多くの課題が横たわっています。これらに対応するため、京都府では昨年10月、府政運営の指針となる新しい京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定いたしました。

この総合計画は、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」という2040年の将来像をめざし、行政分野や地域ごとの具体的な取組方策等を定めたものです。府民の皆さまや地域、企業などと共に取り組みを進め、総力を結集し、めざす将来像の実現に向け果敢にチャレンジしてまいります。

京都の潜在力を生かすために

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020」）が、そして来年にはワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます。こうした機運の中、府内初となる専用球技場「京都スタジアム」が完成し、迫力のあるスポーツイベントを臨場感いっぱい楽しんでいただけるようになりました。同スタジアムを京都府中北部地域へのゲートウェイとして地域活性化を図るとともに、スポーツを通じて関西一円を元気にしてまいります。

そして、東京2020の開催に合わせ、日本の美を体現する「日本博」が文化庁主導のもと全国で開催されます。この機会に京都府では「京都文化力プロジェクト2016-2020」の総仕上げとなる総合的な文化の祭典を開催するほか、2021年度を目途とする文化庁の本格移転を見据え、文化の保存、継承、創造、発展にも力を注ぎます。

また、伝統産業とその技を生かした新技術、観光・文化産業、ハイテク産業が三位一体となり、さらに大学等が集積した京都の潜在力を大いに発揮することが求められます。京都経済百年の計となる「京都経済センター」を核に、起業から成長支援、海外展開、人材育成まで、イノベーションが起これ続ける事業環境の創造を進めてまいります。

共に、新しい時代へ

こうした取り組みの源は人です。就任以来、一貫して進めてきた「子育て環境日本一」の実現に向け、2040年までに全国平均並みの合計特殊出生率を達成するべく「子育て環境日本一推進戦略」を策定しました。この目標の達成は容易なことではありませんが、「水滴石を穿（うが）つ」と申します通り、粘り強く取り組んでまいります。

今年は、十二支の始めである子（ね）年。『漢書』律曆志によると、新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態を表しているとされています。この新しい年を、府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持てる、新しい時代の京都を築き上げるための第一歩とするため、共に歩んでまいりましょう。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
会長

二 階 俊 博



令和2年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、6月、8月の大雨、さらに台風第15号、第19号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和2年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る4,433億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると6,515億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年7月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に12年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであります。これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成30年の7月豪雨では、全国で32カ所のため池が決壊し、尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、2年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員

進 藤 金日子



新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げる次第です。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」(初回開始後百周年)も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円(対前年度比64億円増)を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいります。

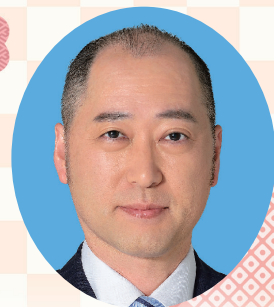
皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいります覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長 会議顧問
参議院議員

宮崎 雅夫



新年明けましておめでとうございます。

京都府の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年の1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地にお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。京都府の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の榮に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様から頂いたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も残念ながら台風19号をはじめ一連の自然災害により、農地や農業用施設も全国各地で大きな被害が広範囲で発生いたしました。早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割で踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特に、ため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和2年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけではなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地も推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、当初4,433億円、補正1,542億円、臨時特例の措置540億円の計6,515億円を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしてまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度理事会並びに監事会を開催

第2回監事会が開催され、提案のとおり承認されるとともに、平成30年度決算等について監査が執行され、監査結果は第2回理事会で報告されました。

第2回監事会・第1回監査

日時 令和元年7月24日（水）午後1時から

場所 本会役員室

<監事会>

- (1) 第1回監査について
- (2) 令和元年度（第1回）収入支出補正予算（案）の承認について
- (3) この会と理事との契約についてこの会の代表に関する事項について

<監査>

- (1) 平成30年度事業報告書
- (2) 平成30年度収入支出決算書並びに財産目録
- (3) 積立金の管理状況
- (4) 現物確認



第2回監事会第1回監査の様子

第2回理事会及び第3回理事会が開催され、提案のとおり承認可決されました。

第2回理事会

日時 令和元年7月27日（土）午前10時30分から

場所 都ホテル京都八条（京都市南区）

<議事事項>

- (1) 平成30年度収入支出決算並びに財産目録の承認について
- (2) 令和元年度（第1回）収入支出補正予算の理事会専決処分の承認について（案）



第2回理事会の様子

第3回理事会

日時 令和元年10月26日（土）午後0時30分から

場所 御所西京都平安ホテル（京都市上京区）

<議事事項>

- (1) 損害賠償請求の判決確定に係る予備費の充用について
- (2) 要望活動について



第3回理事会の様子

第42回全国土地改良大会 岐阜大会の開催



令和元年10月16日（水）、第42回全国土地改良大会（岐阜大会）が、『清流で未来をうるおす土地改良～水土里の恵みを新たな世代へ～』をテーマに、岐阜県岐阜市の‘岐阜メモリアルセンターで愛ドーム’で全国各地から約4,000名余りの土地改良関係者が参加し開催され、京都からは会員・事務局107名が参加するとともに、京都府農林水産部から伊藤技監、田村農村振興課長に出席いただきました。

歓迎セレモニーでは、岐阜県重要無形民俗文化財の「谷汲踊り」、国重要無形民俗文化財の「郡上おどり」が披露され、続いて大会旗の入場により、大会式典がはじまりました。

最初に台風19号などの豪雨災害で亡くなられた方々に対して黙祷が行われ、開会宣言、国歌斉唱のあと、藤原勉岐阜県土連会長が開会挨拶、二階俊博全土連会長が主催者挨拶、古田肇岐阜県知事の歓迎のことばに続き、柴橋正直岐阜市長、伊東良孝農林水産副大臣、野田聖子衆議院議員、水野正敏岐阜県議会副議長、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫同顧問の来賓祝辞がありました。続いて行われた、土地改良事業功績者表彰では、京都府から前京田辺市長の石井明三様が全土連会長表彰を受賞されました。

休憩の後、奥田透農林水産省農村振興局長から「未来を潤す土地改良」と題して基調講演が行われ、続いて、優良地区事例紹介として、株式会社寺田農園（高山市）代表取締役の寺田真由美氏から「農業のカタチ」、農事組合法人本戸営農組合（輪之内町）代表理事の小林行夫氏から「法人化による経営の安定とブランド化への展開」の2件の報告がありました。

大会宣言は、岐阜県立恵那農業高等学校環境科学科3年の鶴飼太謙さんと林杏実菜さんが、力強く大会宣言文を朗読。『本日、ここに集う私たち「水土里ネット」は、「清流で未来をうるおす土地改良～水土里の恵みを新たな世代へ～」を合い言葉に、未来への懸け橋である土地改良を、豊かな恵みある水土里を、新たな世代へ引き継いで行くことを、ここ「清流の国ぎふ」から、高らかに宣言します。』との結びに満場の拍手が寄せられました。続いて、土地改良のうた～土光る～がシンガーソングライター佐藤梓さんと岐阜県立恵那農業高等学校、岐阜大学コーラスクラブにより披露されました。

最後に次期開催県である群馬県に大会旗引継ぎが行われ、熊川栄群馬県土連会長の次期開催県挨拶に続いて、水野光二岐阜県土連副会長の挨拶で閉会となりました。

大会終了後、宿舎の岐阜グランドホテルにおいて、京都府の参加者全員により親睦を深めるため交流会を行いました。交流会では、様々な情報交換が行われ、京都府内の農業農村整備事業の推進のため一層努力することを誓い合い、盛会の内に終了しました。

翌日は、93名の参加を得て京都府独自で事業視察を行いました。大会本部に幹旋をお願いし、「世界かんがい施設遺産」曾代用水、国営かんがい排水事業長良川用水地区高須輪中土地改良管理センターを視察しました。曾代用水では土地改良区と地元の協力団体から曾代用水が造られた経過につ

いてわかりやすく紙芝居を使って説明を受けました。高須輪中土地改良管理センターでも事業担当者から事業に取り組んだ経緯や管理体制などについて説明がありました。

昼食の後、各バスに分かれて金華山ロープウェーにて山頂の岐阜城、また、長良川うかいミュージアムの見学を行い予定どおり帰路につきました。

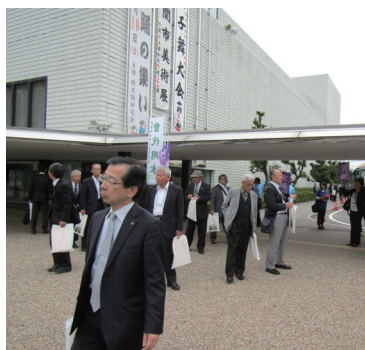
今回は岐阜県という近距離のこともあり初めて京都から大型バスを仕立てて大会に参加しました。行き帰りとも特に事故もなく無事帰京できました。参加された皆様の御協力に感謝お礼申し上げます。

なお、次回第43回全国土地改良大会（群馬大会）は令和2年10月14日（水）群馬県高崎市「群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」」で開催されます。多数の参加をお待ちしています。

事業視察地の風景

「曾代用水：関市文化会館」

市民ボランティア団体「孫六座」による用水の成り立ちを説明する紙芝居「曾代用水物語」が上演されました。



高須輪中土地改良管理センター「岐阜県海津市」

高須輪中総合整備事業の概要説明と馬目揚水機場内での説明風景



事業視察参加者の記念写真「昼食会場前」



(左) バス1号車（京都・乙訓・宇治支部の皆様）

(中) バス2号車（綴喜・相楽・亀岡支部の皆様）

(右) バス3号車（南丹・京丹波・綾部・福知山・舞鶴・京丹後支部の皆様）

農業農村整備の集い及び決議文に基づく要請活動

令和元年11月11日（月）、東京都千代田区シェーンバッハ・サボー（砂防会館別館）において、「農業農村整備の集い」が、全国の関係者約1,200名、また、田中英之衆議院議員（京都4区）、をはじめ105名の衆参国會議員参加の下、盛大に開催されました。

京都府内からは本会藤原会長、田中副会長、土地改良区、市町村の代表者に加え、京都府農林水産部農村振興課田村課長の参加もいただき12名で参加しました。

開会に当たり二階全土連会長から、「今年も前線に伴う大雨や台風の暴風雨などにより、多くの災害が発生しています。被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興、回復を目指して出来ることは全て行っていく決意をお誓い申し上げます。来年度の予算については、現在、編成作業が進められており、“闘う土地改良”は続いていく。皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。」との挨拶があり、続いて来賓の江藤農林水産大臣、森山自民党国会対策委員長、西川内閣官房参与（元農林水産大臣）、塩谷自民党農林水産戦略調整会長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤、宮崎両参議院議員より祝辞がありました。



会場の様子



二階全土連会長



江藤農林水産大臣



森山自民党国会対策委員長



進藤参議院議員



宮崎参議院議員

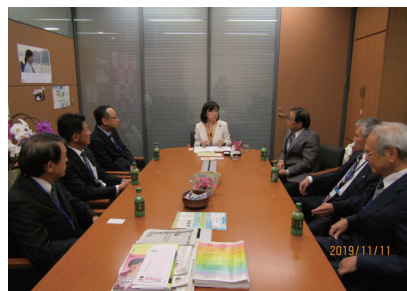
その後、優良地区の事例発表として長野県いくさか地区、長崎県三会原地区が紹介された後、『令和2年度の必要な予算を確保』『台風第19号をはじめとした、大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速的に進めること』など全6項目の要請案文が全会一致で採択され、群馬県土連会長の音頭により参加者一同がガンバロウを三唱し閉会しました。

集い終了後、京都府の参加者は京都府関係の衆参国會議員に対し、決議された要請書を手交し京都府内の農業農村整備の実施状況により要望活動を行いました。

記

- 一 農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和二年度予算について、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。
- 二 今般の台風第十九号をはじめとした、近年の大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速的に進めること。その際は、原形復旧に止まらず、再度災害防止のための措置についても、必要に応じて講じること。
- 三 農業の競争力強化の実現のため、野菜等の高収益作物の導入や、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化と水田の畑地化をより一層推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化の実現のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等をより一層推進すること。
特に、防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策について、令和二年度で確実に完了するよう、十分な予算措置を講じるとともに、令和三年度以降の対策について、必要な検討を行うこと。
- 五 本年四月に施行された改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めるとともに、土地改良区や組合員の声に真摯に耳を傾け、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
- 六 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」について、引き続き、広く国民に向けてその周知を図るとともに、現場の実態をよく踏まえた上で、必要となる財政的支援等を講じること。

要請事項



木村やよい 衆議院議員



進藤金日子 参議院議員

農業農村整備事業に係る予算確保に向けた要望活動について

本会および京都府農業農村整備事業推進協議会は、令和2年度の農業農村整備事業の推進に向けて、令和元年11月8日(金)、藤原秀夫会長・田中英夫副会長を先頭に会員土地改良区・市町村とともに、財務省、農林水産省、自由民主党、京都府選出国會議員に要望活動を行いました。

当要望活動については、京都府議会の京都府土地改良議員連盟との合同活動として、同連盟会長の近藤永太郎会長をはじめ役員の方々とともに、京都府選出の国會議員である田中英之衆議院議員に同行いただき、当初予算の確保、防災・減災対策の推進を強く要請しました。

また、令和元年12月24日(火)には、京都府および近畿農政局に対して同主旨の要望活動を行いました。



財務省中澤主計局主計官



農林水産省加藤農林水産副大臣



京都府西脇知事、山下副知事



農林水産省牧元農村振興局長



農林水産省奥田農村振興局次長



農林水産省阿部近畿農政局長

＜要望事項＞

- 1 農業農村整備事業が計画的・安定的に執行できる当初予算の確保
 - ・農地中間管理機構と連携したほ場整備等、力強い農業を支える生産基盤整備の推進
 - ・異常豪雨や地震に備える、ため池整備など農村の防災減災対策の推進
 - ・老朽化する農業水利施設の長寿命化対策など、適切な保全管理の推進
- 2 土地改良施設の管理、災害への備え・対応など各種支援制度の継続、拡充
 - ・土地改良施設の定期的な診断、補修により、適切に機能を保持する活動や、維持管理適正化事業の予算の確保
 - ・ため池のハザードマップ作成等にかかる定額助成の延長
 - ・災害復旧事業申請に付帯する設計業務等の支援制度の拡充
- 3 日本型直接支払制度（多面的機能支払交付金）の円滑な推進
 - ・多面的機能支払制度等の交付金予算の確保
 - ・活動の継続のため広域化を促進する地域協議会への支援の充実
 - ・水土里ネットの培った技術、経験など持てる能力の積極的な活用とその支援
- 4 貴重な農業空間を維持している都市農業地域における土地改良施設の整備・保全対策の農業振興地域と同様の推進
- 5 改正土地改良法に基づく土地改良区の体制強化と運営基盤強化のための土地改良区支援の充実
- 6 農村地域の生産基盤と住民の安心安全を支えている土地改良団体に対する技術力の向上と運営基盤強化の支援

叙勲受章者の紹介

令和元年7月1日に叙勲の受章者が発表され、土地改良関係者1名が受章されました。



瑞宝双光章（地方自治）

山本 雅晃 氏

城陽市

京都府丹後土地改良事務所長（S60.4～S63.4）

京都府洛南土地改良事務所長（S63.4～H1.4）

令和2年度農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和元年12月20日に閣議決定され、令和2年度当初4,433億円＋臨時・特例の措置540億円＋令和元年度補正1,542億円＝6,515億円と、昨年度（6,451億円）を64億円上回る額となっています。

○令和2年度当初

(単位：億円)

	2年度 予算案
・農業農村整備事業＜公共＞	3,264 (3,260)
・農地耕作条件改善事業	250 (300)
・農業水路等長寿命化・防災減災事業	258 (208)
・農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 943億円のうち 農業農村整備分	661 (650)
計	4,433 (4,418)

※下段（ ）書きは、令和元年度当初予算額である。

○令和2年度当初（臨時・特別の措置）

(単位：億円)

	2年度 予算案
・農業水利施設等・ため池の防災・減災対策＜公共＞ 農業農村整備事業 農山漁村地域整備交付金42億円のうち農業農村整備分	540 [511 29]
計	540

○令和元年度補正

(単位：億円)

	元年度 予算案
「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施 [・農地の更なる大区画化・汎用化の推進＜公共＞ ・水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進＜公共＞ ・畜産クラスターを後押しする草地整備の推進＜公共＞ ・中山間地域所得向上支援対策の本体36億円のうち基盤整備分 ・農山漁村地域整備交付金（中山間地域農業枠）]	946 [270 566 58 14 38]
・農業水利施設等・ため池の防災・減災対策＜公共＞ 農業農村整備事業 農山漁村地域整備交付金34億円のうち農業農村整備分	546 [572 24]
計	1,542

水土里相談推進事業について

令和元年7月30日から8月27日まで延べ9日間に亘り令和元年度水土里相談推進事業を行いました。水土里相談の支援別実施状況と主な相談内容は下表のとおりです。

今回の水土里相談には、京都府から農林水産部農村振興課、各広域振興局地域づくり推進室の担当職員も出席をいただき、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」等について情報提供を行うとともに、会員の相談に対して行政の立場からの助言・指導をいただきました。

なお、連合会では今後も会員の皆様とともに、土地改良事業の一層の推進に向けた取り組みを図るために水土里相談を推進してまいりますのでよろしくお願いします。

1 実施状況（支部別）

支 部 名	会 員	出席会員	実 施 年 月 日	会 場
京 都	16	7	令和元年 7 月30日	京都市役所西館会議室
乙 訓	6	6	令和元年 8 月 2 日	長岡京市役所会議室
宇 治	9	4	令和元年 8 月21日	京田辺市役所会議室
綴 喜	9	5		
相 楽	12	7	令和元年 8 月27日	相楽郡川西土地改良区会議室
亀 岡	14	12	令和元年 7 月31日	亀岡市役所会議室
南 丹	6	5	令和元年 8 月20日	南丹市役所会議室
京 丹 波	6	4	令和元年 8 月20日	京丹波町中央公民館
綾 部	5	5	令和元年 8 月 6 日	市役所まちづくりセンター会議室
福 知 山	5	4	令和元年 8 月 6 日	福知山市役所会議室
舞 鶴	3	2	令和元年 8 月23日	舞鶴市役所会議室
与 謝	3	3	令和元年 8 月 7 日	宮津市林業振興センター研修室
丹 後	4	3	令和元年 8 月 7 日	丹後土地改良区会議室
13 支 部	98	67		

2 相談内容と件数の推移

項 目	元年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	件 数	件 数	件 数	件 数	件 数
1 土地改良区の運営について	33	46	31	32	56
2 土地改良施設について	20	29	23	26	30
3 会員支援事業について	8	11	17	8	12
4 要望等について	7	18	8	1	5
5 多面的機能支払交付金との関わりについて	0	2	0	1	0
6 事前質問の提出について	31	19	21	17	20

水土里相談の開催風景



宇治・綴喜支部



綾部支部

土地改良法改正に関する取り組み

改正土地改良法が平成31年4月1日に施行され、利水調整規程の策定や員外監事の設置などが義務付けられました。

本会では、特に貸借対照表の作成とこれに関連する土地改良施設の資産評価について、それぞれ支援事業を実施しています。

土地改良区複式簿記導入支援事業

～土地改良区複式簿記導入支援研修会～

府内4会場において、税理士法人ブレインズに講師を依頼し、貸借対照表の作成に係る基礎的な研修を実施しました。

開催日	場所	出席者
令和元年6月25日	京田辺市立中央公民館	12土地改良区 20名
6月27日	大江町総合会館	9土地改良区 22名
7月1日	亀岡市役所別館	20土地改良区 37名
7月2日	御所西 京都平安ホテル	8土地改良区 13名



～複式簿記導入促進特別研修会～

全国土地改良事業団体連合会の主催により、府内2会場において、農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課細貝係長及び全国土地改良事業団体連合会経理部・支援部金内主任を講師に、複式簿記の基礎知識や土地改良区会計基準に基づく会計記帳実務など、今後、複式簿記を導入するうえで必要な研修を実施しました。

開催日	場所	出席者
令和元年8月29日	ホテルセントノーム京都	35土地改良区 56名
8月30日	綾部市ものづくり交流館	19土地改良区 38名



～土地改良区体制強化事業に係る複式簿記会計巡回指導～

令和元年10月から、本年度は20土地改良区を選定し、原則として3回程度、複式簿記会計等に関する土地改良区への巡回指導を実施しています。実施に当たっては、必要に応じて会計専門家の同席により、日々の会計処理に係る課題等への対処や単式簿記会計と複式簿記会計の相違点、貸借対照表の作成方法や留意点等について指導を実施しています。

土地改良区資産評価データ整備支援事業

貸借対照表作成に必要な資産台帳を整備するため、土地施設台帳の作成を支援するとともに、資産評価を各土地改良区毎に実施しています。

土地改良区が所有又は管理している土地改良施設をもれなく把握し、京都府、市町村、土地改良区と連携し、情報収集と整理により土地改良施設台帳として取りまとめます。

土地改良施設の資産評価は、貸借対照表への反映や施設更新の更新費用の積み立ての根拠資料など、今後に役立つものとなります。



業務課の取り組みについて

京都府内には本会で把握しているだけで約600箇所の用排水機があります。

その中でも特に地下水ポンプは水質の影響で目詰まりや腐食の進行が早く、突然機能停止するケースが頻発しているため、機能診断を行い施設の状態を把握し、その状態に応じた補修・更新などの長寿命化対策が求められています。

本会ではこのような地下水ポンプの機能診断や機能保全計画策定業務も実施しており、施設の長寿命化・効率的な管理や地域農業の持続的発展に寄与しています。

○主な実施内容：機能診断調査、機能保全計画策定

機能診断調査は施設の劣化状態確認のほか、揚水量・圧力、絶縁抵抗・電流値及び 地下水の水質（鉄・マンガン）などを測定し、機能保全計画を策定します。

平成30年度実施地区

事業名：農業水路等長寿命化・防災減災事業

事業主体：綴喜西部土地改良区

実施内容：綴喜西部土地改良区が管理する120箇所の地下水ポンプ等の機能保全計画策定業務を実施しました。

診断の様子



井戸地上部の診断



揚水量の計測



操作盤の診断



水質測定（鉄・マンガン）

施設の診断、改修計画など規模の大小に関わらず、お気軽にお声かけください。

土地改良施設診断・管理指導業務の実施 ～土地改良施設診断・管理指導を活用し、施設の適切な保全管理を～

本会では国・府の補助事業により土地改良施設の円滑な管理を目的に、主に農業水利施設を対象に土地改良施設の診断・管理指導を実施しています。

この診断・管理指導の結果は地域で施設管理や整備を考える契機となっているほか、緊急に整備補修を要する施設、又は数年後の整備補修が必要な施設の土地改良施設維持管理適正化事業の加入要件となっており、土地改良施設の適正管理と長寿命化の推進に寄与しています。

市町村や土地改良区など施設管理者からの要望に基づき毎年80ヵ所程度の診断を行っています。



揚水機、水路、頭首工などの水利施設を対象に、2月頃まで実施していきます。

診断のご要望がありましたらお声かけください。

土地改良施設維持管理適正化事業

施設の計画的な整備補修を行い、機能低下の防止や回復等、土地改良施設の機能保持を図るもので、ポンプ、モーターのオーバーホール、ゲートの塗装、水路の補修など、土地改良区等で管理されている農業水利施設ほぼ全般に対し、助成が受けられる制度です。

加入年度から事業費の30%を5年間均等に積み立て、事業は加入年度から5年間のうち実施計画に定められた年度に実施することとなります。

整備前

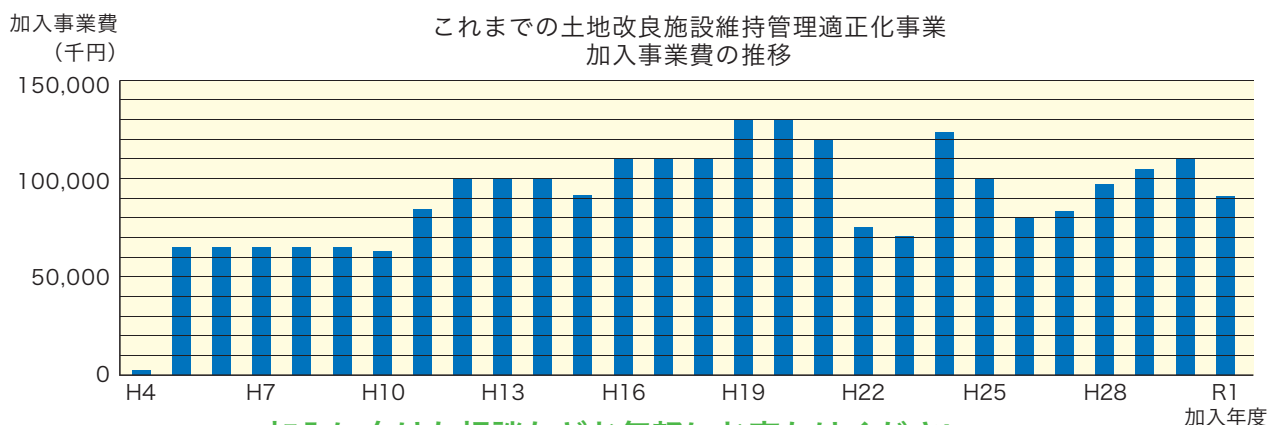


整備後



土地改良施設維持管理適正化事業で整備された施設(ゲート塗装)

これまでの土地改良施設維持管理適正化事業
加入事業費の推移



加入に向けた相談などお気軽にお声かけください。

会員支援事業 システム化推進支援の要件の緩和と緊急支援について

土地改良法改正に伴う複式簿記導入を支援するため、国において開発中の比較的安価な会計ソフト（令和元年度中に販売予定）も対象となるよう、土地改良区事務システム化の事業費の下限を撤廃しました。

（区分）システム化推進支援

（種別）土地改良区事務システム化

改正後	現 行
1 削除 1 インターネット環境が整備されている、若しくは、整備されること。	1 事業費10万円以上を対象とする。 2 インターネット環境が整備されている、若しくは、整備されること。

（令和元年12月1日より施行）

また、かんがい施設等の突発的な事故、故障に対して行う緊急支援は、令和元年度は10地区、平成30年度は13地区、平成29年度は16地区と毎年多くの地区で利用されています。特に春から夏にかけての作付け時期において要望が多く、速やかな対応が必要とされる場面で利用していただいております。突発事故の発生時はお気軽に連合会までご相談ください。

令和元年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修

令和元年9月19日南部会場（京都市：ルビノ京都堀川）、9月20日北部会場（福知山市：中丹勤労者福祉会館）の2会場で「令和元年度土地改良区体制強化事業技術実践向上研修」を開催しました。

本研修会では、小規模なポンプを対象とした、ポンプの構造、簡易な点検方法、整備事例などの説明を行いました。併せて、個別の相談会とし参加者が日常の管理等のなかで困っている事などについて相談する機会を設けました。

本会からは本年度実施の土地改良施設診断・管理指導について注意事項、土地改良施設維持管理適性化事業の仕組みや事務手続き等の説明を行いました。



南部会場



北部会場

非補助農業基盤整備資金

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、施設の補修・更新などの事業に取組み、農業生産基盤の保全管理・整備の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し長期・低利で融資する資金です。なお、農業集落排水など農村生活環境の整備や国の補助対象ではない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水（宅地内配管、トイレ、浴室、洗面所の改修等）、土地改良区事務所、事務機器、車両、調査費など。

■融資条件

ご利用いただける方：土地改良区、土地改良区連合等 償 還 期 限：最長25年（据置期間10年以内）
融 資 限 度 額：地元負担金（最低限度額50万円）金 利：0.20%（令和2年1月21日現在）

融資のご相談・お問い合わせ

農協、信連、各市町村役場、府広域振興局、
京都府土地改良事業団体連合会、日本政策金融公庫京都支店
農林水産事業（075-221-2147）

令和元年度水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会を開催

令和元年12月3日（火）、ホテルルビノ京都堀川において、水土里ネット京都土地改良区役職員等研修会を開催し、100名を越える多くの会員の出席をいただきました。

昨年7月に新たに「ため池の管理及び保全に関する法律」が施行されたことから京都府農村振興課湯浅課長補佐に府内の農業用ため池の現状や新たな法律に対する対応について説明頂きました。また、ため池の防災減災に係るソフト対策として重要なハザードマップについて、本会業務課野々村課長・坂口技師から、その内容や作成手順など事例を交えながら説明を行いました。

次に、土地改良区に施設管理准組合員が制度化されたことも踏まえ、近畿農政局農地整備課入田多面的機能支払推進室長から「土地改良区と多面的機能支払組織との連携について」と題して、府内の多面的機能支払の紹介や改良区との連携などについて講演頂きました。また、今後の展開が予想されるスマート農業の基礎や取り組み事例について農業会議農業ビジネス課西田コーディネーターに「スマート農業の概要と事例について」と題して、講演頂きました。

最後に全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員から「農業農村整備の展開方向について」特別講演をいただきました。国会会期中のためビデオメッセージと木村秘書による国政報告となりました。



会場



宮崎顧問特別講演

全国水土里ネット女性の会 設立総会及び研修会

令和元年12月10日（火）砂防会館別館にて「全国水土里ネット女性の会 設立総会及び研修会」が開催されました。

農業・農村の活性化を図るためには女性の「発想力」「能力」を積極的に活用することが重要とされています。平成29年に「水土里ネット広報女性部会」が設立され、女性のスキル向上やネットワーク作り等に貢献してきました。令和元年5月には女性活躍推進法の改正があり、情勢の変化に対応するため「水土里ネット広報女性部会」を発展的に解消し、「全国水土里ネット女性の会」が設立されました。会員、役員構成は以下のとおりです。

会 員	都道府県水土里ネット、水土里ネット女性職員、都道府県女性の会
役員 会 長	萩原 丈巳（水土里ネットやまなし）
副会長	荒木 美子（水土里ネット岡山）、戸松 若菜（水土里ネットみやぎ）
顧 問	進藤優貴子（全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子氏夫人） 宮崎 匡代（全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎 雅夫氏夫人）
相談役	武山 絵美（愛媛大学大学院農学研究科教授）

設立総会では各都道府県女性の会の活動報告、設立準備状況などの情報が交わされました。第2部の研修会では「今後の農業・農村における女性の活躍に期待すること」について、パネリストおよび参加者の意見交換が行われました。

今回の研修で得た他府県水土里ネット女性の会の情報を参考に、今後水土里ネット京都にも女性の会を設置し、活動していけたらと考えております。その際はご協力、ご指導よろしくお願いいたします。

木津土地改良区

関係市：木津川市 地区面積：98ha 組合員数：373人

当土地改良区は、京都府南部の山城地域に位置し、東西南北に国道がはしりJR関西本線、奈良線、学研都市線、西方に近鉄京都線が通る交通の要所に位置しています。

◆地域農業の振興

当地域は、関西文化学術研究都市の開発地に囲まれた「木津中央農地の田園地帯」に、水稻を中心にナス・いちじく・花菜等が栽培される都市近郊農業地域です。

用水は、一級河川木津川から0.4m³/sを取水する「木津用水」を主たる水源として灌漑しています。また、同用水受益地の相楽土地改良区及び市坂水利組合のエリアを含めた309haにおいて、広域組織による多面的機能支払交付金事業に取組み、多面的機能発揮のための地域活動等により、地域資源保全活動を展開しています。

◆用水の維持管理

- ①府営基幹水利施設ストックマネジメント事業等の活用により、順次保全・改修しています。
- ②多面的機能支払交付金事業による草刈・浚渫等を実施。



揚水ポンプのオーバーホール立会



取水口の土砂撤去作業

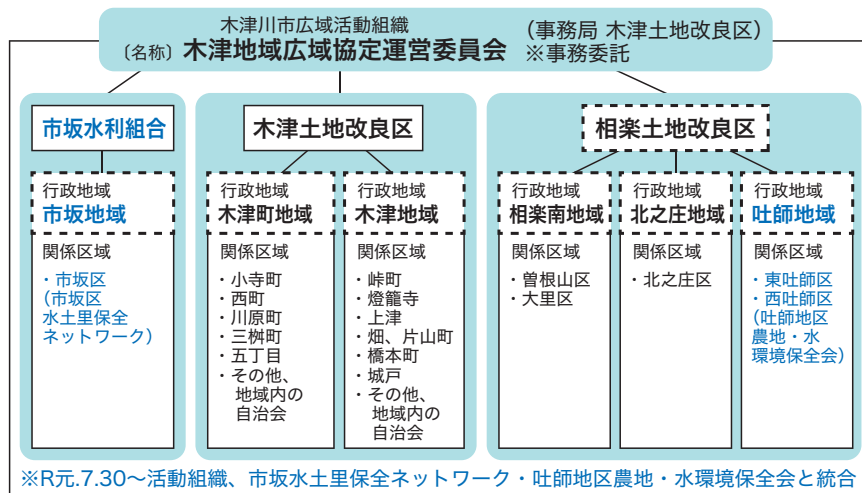


取水口周辺の草刈作業

◆土地改良区の運営

当土地改良区は98haと小規模なため、他土地改良区及び多面的広域組織の事務委託・団体営事業等の単費事務費により実施体制を整備して、活動・運営をしています。

〔多面的機能支払交付金組織図〕



集落内、水路清掃活動



花の植栽活動（用水施設周辺）

これらの取組みにより、かんがい施設の維持管理と地域農業振興の役割を担っています。

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会の取り組み

第10回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール

農と水と環境を良好に保全する地域ぐるみの活動の取組の大切さを子どもたちに気づいてもらい、併せて、本コンクールの広報活動を通じて、広く府民への周知を図ることを目的に、「第10回農と水と環境を守る子ども絵画コンクール」を実施したところ、232点の応募がありました。

令和元年11月30日（土）、12月1日（日）に開催された農林水産フェスティバルで表彰と作品の展示をおこなうとともに、入賞作品を印刷した令和2年カレンダーを配布しました。



絵画コンクール表彰式



作品展示の様子



令和2年カレンダー

入選作品は協議会ホームページ（<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>）に掲載しております。

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良表彰

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を目指し、日本型直接支払制度（多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金・環境保全型農業直接支払交付金）及びその推進に資する活動に取組み、地域ぐるみで効果の高い活動や、先進的な取組を実践している優良な組織等を表彰することにより、関係者の意欲の高揚を図るとともに、各地での取組の更なる充実を促進することを目的に、平成25年度から優良表彰を実施しています。

本年度の受賞組織は次のとおりです。

■地域保全・地域活性化部門

	市	町	村	組	織	名
京 都 府 知 事 賞	福	知	山	市	下 夜 久 野 環 境 保 全 協 議 会	
京都府農業協同組合中央会長賞	宮	津	市	田	原 農 地 ・ 水 保 全 会	
京 都 府 農 業 会 議 会 長 賞	精	華	町	北	稲 八 間 区 む ら づ くり 推 進 委 員 会	
京都府土地改良事業団体連合会長賞	綾	部	市	上	原 町 農 地 環 境 保 全 組 合	



優良表彰式

■環境保全型農業部門

	市	町	村	組	織	名
京 都 府 知 事 賞	綾	部	市	忠	町 農 家 組 合 作 業 部 会 環 境 保 全 活 動	
京都府農業協同組合中央会長賞	南	丹	市	JA	京 都 園 部 支 店 生 産 振 興 部 水 稻 部 会	
京 都 府 農 業 会 議 会 長 賞	与	謝	野	町	中 地 地 区 活 動 組 織	

受賞組織の詳細は協議会ホームページ（<http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>）に掲載しております。

なお、表彰式は子ども絵画コンクール、優良表彰とも、令和元年11月30日（土）開催の「京都府農林水産フェスティバル2019」において行われました。

水土里フェスタ2019

令和元年8月21日（水）から8月27日（火）まで、ゼスト御池地下街「寺町広場」（京都市中京区）において、京都府森林組合連合会との合同主催により（共催：京都市、後援：京都府）、水の役割、水を育む森や農山村の営み、水を利活用し守る活動等に係るパネルを展示し、「水」の重要性や「森と水土里」及び府内の土地改良施設の役割について広報活動を行いました。

本年度は25日（日）のイベント開催日に、参加型のイベントとして京都府立大学農業経営学研究室中村貴子准教授と京都府立大学生にご協力いただき、宇治茶玉露の試飲イベント「宇治茶体験」を開催し老若男女多くの方に参加いただきました。

この取組の中で、私たち水土里ネットの役割・活動、また土地改良施設と管理などについて幅広い世代に理解を深めていただくとともに、農山村とその地域資源等を再認識していただきました。



パネル展示を見学する参加者



宇治茶体験の様子

京都府農林水産フェスティバル2019

令和元年11月30日（土）、12月1日（日）の2日間、京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ）において、新鮮で良質な府内産農林水産物やふるさと産品を広く府民に紹介し生産者と消費者が交流を深めることで、府内農林水産業に理解と関心を持ってもらい、府内産品の消費拡大につなげることを目的として、「京都府農林水産フェスティバル2019」が開催されました。

本会は、同フェスティバルに参画し、農業農村整備の重要性と土地改良区の役割と活動を多くの府民に知っていただくため、水土里ネット京都のPRブースに広報パネルや写真コンクール入賞作品を展示しました。



出展の様子

令和元年度京都府農林水産業功労者表彰

令和元年11月30日（土）、京都府総合見本市会館（パルスプラザ）において行われ、次の3名の土地改良関係者が受賞されました。



梅田 和男 氏
網野町字網野土地改良区理事長



森田 啓史 氏
今里土地改良区元理事長



中岡 基裕 氏
瓶原土地改良区元理事

第16回水・土・里ふるさと写真コンクール入賞作品を展示

“次世代に引き継ぎたい、身近なふるさとを感じる写真”を基本テーマとして行われた、「第16回水・土・里ふるさと写真コンクール」入賞作品の展示を府内各地で行い、多くの方に観ていただきました。

なお、現在「第17回水・土・里ふるさと写真コンクール」の作品を募集中ですので、たくさんのご応募をお待ちしています。

※入賞作品は本会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



スプリングスひよし



亀岡市役所

展示場所一覧 令和元年

6月 1日	国立京都国際会館（京都市）
8月 5日～ 8月 9日	福知山市役所（福知山市）※9日午前まで
8月 9日～ 8月19日	丹後王国 情報交流センター（京丹後市）
8月21日～ 8月27日	ゼスト御池（京都市）
9月20日～ 10月 4日	亀岡市役所（亀岡市）
11月12日～ 11月22日	スプリングスひよし（南丹市）
11月30日～ 12月 1日	パルスプラザ京都（京都市）

事務局便り

資格試験合格者について



土地改良換地士資格試験に合格して

業務課 技師 伊庭 将也

この度、令和元年度土地改良換地士試験に合格し、土地改良換地士となりました。入職して4年目ながらも土地改良事業に関する知識はまだまだ浅く勉強が必要ですが、農地所有者の皆様にとってよりよい土地改良事業推進が行えるよう土地改良換地士としての責務を全うして参りますので、なにとぞよろしくお願いします。



技術士補及び測量士補資格を取得して

総務支援課 技師 松本 万由子

大学で4年間農業土木及び測量に関することを学び、今回の技術士補資格及び測量士補資格の取得へと繋がりました。現在、技術士補及び測量士補の知識を生かしきれていない部分も多々ありますが、今後も精進していきたいと思います。

福島県内の災害復旧に係る技術職員の応援派遣について

令和元年12月2日（月）～ 12月27日（金）の期間において、福島県内の災害復旧における技術支援職員として、垣村主任および伊庭技師の2名を派遣しました。

福島県土地改良事業団体連合会にて農地・農道・水路など多岐に渡る災害復旧事業の査定に向けて設計・積算業務をサポートいたしました。

福島県内では、膨大な数の農地・農業用施設災害が確認されており、一日も早い復旧が必要となっております。本会では、全国における災害の迅速な復旧を心からお祈りするとともに、今後とも非常時における他府県へ応援体制を整えるよう尽力して参ります。



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019

本年度は、全国で5,224点の応募があり、京都府内からは、以下の1点が「入選」となりました。おめでとうございます。



「海と伊佐津川」



荒賀希愛さん 4歳（相愛保育園：京都府舞鶴市）

みどり
水土里ネット京都

京都府土地改良事業団体連合会

〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館

TEL(075)451-4137 FAX(075)414-2777

E-mail : info@midorinet-kyoto.jp

URL : <http://www.midorinet-kyoto.jp>